

平成31年度 国立歴史民俗博物館 共同利用型共同研究計画書 (新規)

研究課題名	(日本語)				
	(英語)				
研究区分 ※どちらかにチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 館蔵資料利用型 <input type="checkbox"/> 分析機器・設備利用型				
研究対象資料名／ 研究で使用する科学解析機器名					
研究組織		氏名	所属機関・職名 [所属大学・研究科・専攻・学年]	若手研究者 [40歳未満は○印]	専門分野
	研究申請者 (代表者)				
	館内担当教員				
研究内容	研究の目的および特徴について、具体的に書いてください。				
研究計画	研究の目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、明確に書いてください。				

研究成果と公表方法	期待される成果と、その成果をどのように公表するかについて、具体的に書いてください。						
	月別	事項(場所)	日数	人数	金額(単位:円)	備考	
平成31年度の経費の内訳	①旅費	※資料調査、成果に基づく学会発表等					
	小計						
		品名・事項	単価	数量	金額(単位:円)	備考	
	②消耗品 購入・分析委託費						
	小計						
		事項	単価	数量	金額(単位:円)	備考	
	③その他						
	小計						
	総計						

# 別紙

## 推 薦 書

平成 年 月 日

国立歴史民俗博物館長 殿

指導教員

所属・職

氏 名

印

貴博物館の共同利用型共同研究の代表者として下記の者を推薦いたします。

記

推薦する学生の氏名・所属大学・研究科・専攻・学年			
氏名		所属大学・研究科・ 専攻・学年	
研究課題名			
推薦理由（業績を含む）			

# 別表

## 共同利用型共同研究の対象となる分析機器・設備一覧

分析機器・設備名	規格	歴博での分析例
AMS- <sup>14</sup> C 法支援機器	下記参照	
内訳) 自動 AAA 処理装置	光信理化学製作所 K-RI-C K-RS-C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>14</sup>C 年代測定試料の試料調製</li> <li>・炭素・窒素安定同位体分析試料の試料調製</li> <li>・酸素安定同位体分析試料の試料調製</li> </ul>
グラファイト精製装置	光信理化学製作所 KS-MK-5 K-R0-L K-RS-EL	
元素分析計	Thermo 社 Flash EA 1112	
マルチコレクタ ICP 質量分析計 (MC-ICP-MS)	Thermo Fisher Scientific 社 NEPTUNE PLUS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛同位体比の測定 (青銅製品などの産地推定分析等)</li> <li>・ストロンチウム同位体比の測定 (人骨による生育地推定分析等)</li> </ul>
X 線分析顕微鏡	HORIBA (堀場) 社 XGT-5200SL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元素分析 (錦絵色材の分析等)</li> <li>・元素マッピング解析</li> </ul>
蛍光 X 線分析装置 (XRF)	JEOL (日本電子) 社 JSX-3201M	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元素分析 (漆の顔料分析, 金属製品の化学組成分析, 製鉄工程の判定分析等)</li> </ul>
電子線微小部分分析装置 (EPMA)	JEOL (日本電子) 社 JXA-8200	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微小部の観察と元素分析 (金属製品の材質分析等)</li> </ul>
特性 X 線検出器付 低真空電子顕微鏡 (SEM-EDX)	JEOL (日本電子) 社 JSM-6010LA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微小部の観察 (遺跡出土種実同定, 土器の種実圧痕の分析, 金属製品の観察等)</li> <li>・微小部の元素分析</li> </ul>
高温用赤外線サーモグラフィー	JENOPTIK 社 VarioTHERM basic	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炎の逐次温度測定 (鍛冶技術の数値的分析)</li> <li>・高温時の加工品の温度測定</li> </ul>
赤外線カメラシステム	下記参照	
内訳) InGaAs カメラ	浜松ホトニクス社 C10633	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木簡の文字判別</li> <li>・漆紙文書の文字判別</li> </ul>
カメラコントローラー	浜松ホトニクス社 C2741-62	

平成 年 月 日

国立歴史民俗博物館長 殿

氏名 印

平成31年度共同利用型共同研究成果報告書

(フリガナ) 氏 名	
所属・職名又は 大学院・研究科・専攻	
共同研究員（本館教員） 職・氏名	国立歴史民俗博物館研究部 研究系
研 究 課 題	
使用した資料及び 機器・設備	
研究期間	自 年 月 ～ 至 年 月
研 究 内 容	<p>〔別紙〕</p> <p>研究成果の要約（600～800字程度）を冒頭に書き、 研究の経過・内容・成果について、 A4判 2,000字～4,000字程度（図表等を含む）で、 作成すること。</p> <p>*研究成果の要約は『年報』とHPで公開。</p>